

2022年5月29日

“信仰という遺産” (The Legacy of Faith)

前奏

鈴木義兄

賛美歌 2番

いざやともに こえうちあげて くしきみわざ ほめうたわまし  
つくりましし あめつちみな かみによりて よろこびあり

母のむねに ありしときより わがふむみち さきわいたもう  
いまものちも あだをふせぎ 世のわざわい のぞきたまわん

まよいを去り やすきをあたえ つねにめぐみ なぐさめたもう  
父なるかみ み子みたまに 代々みいつと みさかえあれ

聖書拝読 使徒行伝 1章 22-26節

説教 “神の御心”

Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“昔の人たちは、この信仰のゆえに賞賛された。”（ヘブル人への手紙 11章2節）

1970年代に日系アメリカ人のジョアン宮本という女性が、We are the Children という歌を作りました。“私たちは移動労働者の子供たち、私たちは強制収容所の子孫たち、鉄道労働者の息子や娘たち、アメリカに生の証を残した。”という歌詞です。宮本さんはロスアンジェルスで活動されていましたが、シカゴにもほかの土地から移住されたり、収容所から出てこられて、生の証を残した日系人の方たちがおられました。毎年、メモリアルデーの日系人コミュニティーメモリアルサービスが近づくたびに、私はその方たちを覚えて、ヘブル人への手紙の箇所にある先人たちの信仰を思い出します。

シカゴでも戦後すぐには目に見える日本人への差別や排斥があったそうですが、そのような時代を乗り越えて、現在の日系コミュニティーがあるといえるでしょう。ヘブル人への手紙11章では、迫害を受けても負けずに信仰を持ち続けた先人たちをたたえています。

私たちの子孫がどれだけ信仰を受け継ぐか、それは現在の私たちが、どれだけ先人の信仰に感謝しているかにもかかっているのではないのでしょうか。そしてそれは、日系人だけでなく、どの人種、民族にも共通する課題かもしれません。多くを残された先人たちの信仰に心から感謝したいと思います。（Yuki Scroggins）

## 消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

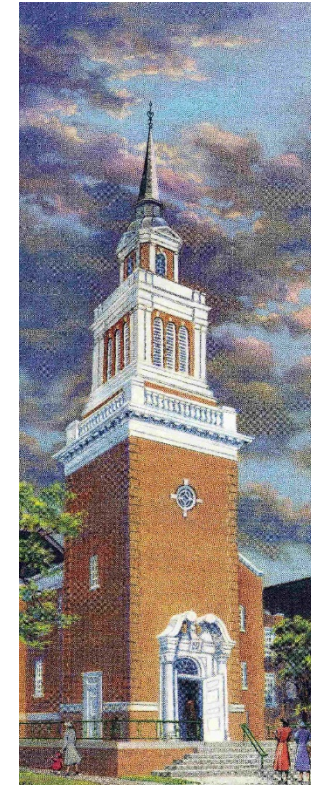
## お知らせ

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのバプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。

—5月30日は、Montrose Cemetery において恒例の日系人団体によるメモリアルサービスが午前11時から行われ、日系の先人たちを偲びます。どうぞご参加ください。



# 週報

第3874号  
2022年5月29日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Phone: 773-728-4200 Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)

---

発行: 2022年5月25日ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話: 773-728-4200